

障害の状況

問9. 障害の種類は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

全体では「知的障害」の回答者が最も多く544人で全体の3割程度を占めています。次いで「精神障害」の回答者が343人で全体の2割近く、「肢体不自由」の回答者が296人で全体の1割以上となっています。

【児童】

「知的障害」の回答者が242人で児童全体の6割以上と最も多く、次いで「発達障害」の回答者が171人で児童全体の4割以上となっています。

【成人】

「知的障害」の回答者が288人、「精神障害」の回答者が275人でそれぞれ成人全体の3割以上と上位となっています。

【高齢者】

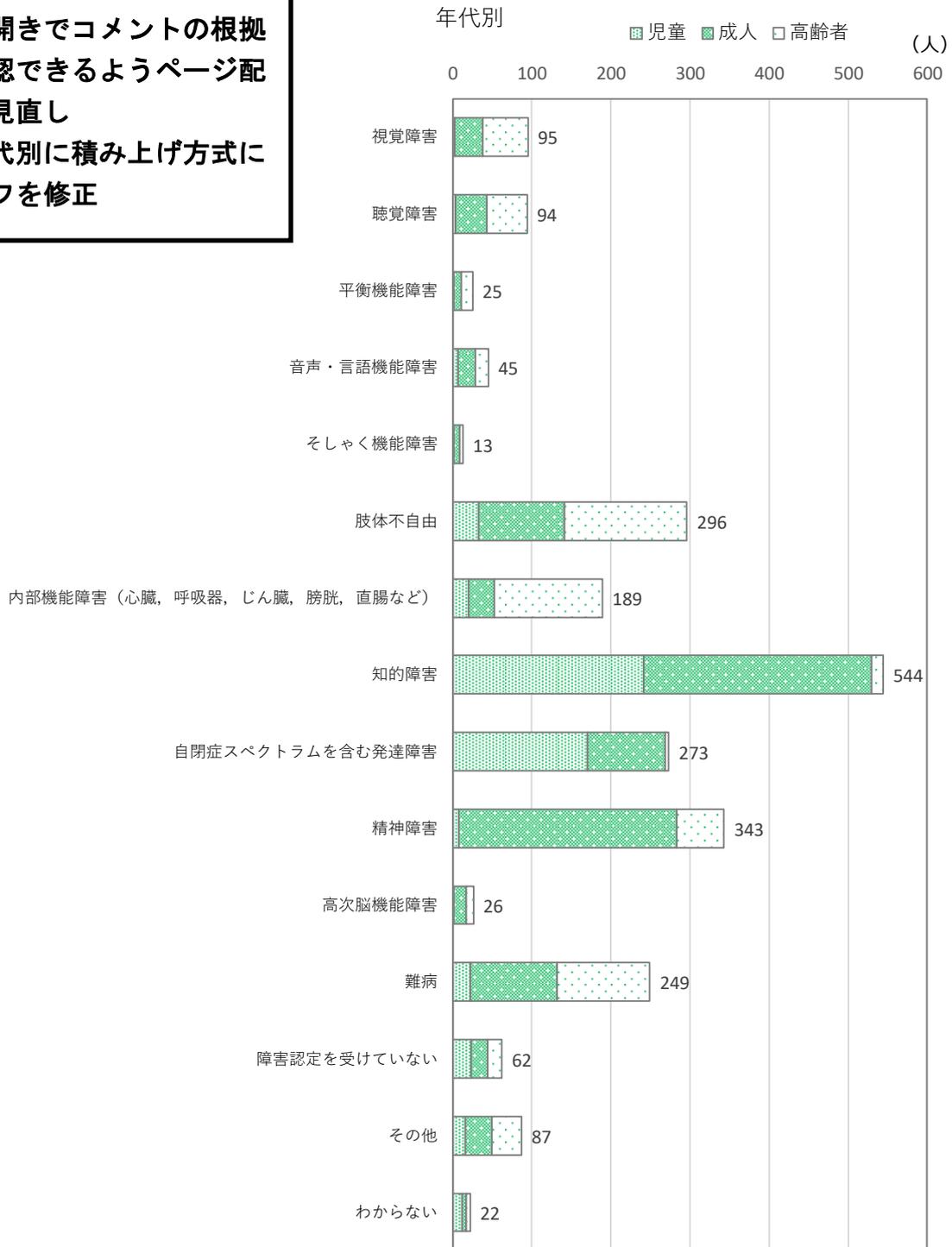
「肢体不自由」の回答者が155人で3割近く、「内部機能障害」の回答者が136人、「難病」の回答者が117人でそれぞれ高齢者全体の2割以上となっています。

(単位：人)

①一部問は
割合⇒実数表記
に変更

	全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数（人）	1,787	381	838	568
視覚障害	95	3	35	57
聴覚障害	94	4	39	51
平衡機能障害	25	1	10	14
音声・言語機能障害	45	7	22	16
そしゃく機能障害	13	1	8	4
肢体不自由	296	33	108	155
内部機能障害（心臓，呼吸器，じん臓，膀胱，直腸など）	189	20	33	136
知的障害	544	242	288	14
自閉症スペクトラムを含む発達障害	273	171	98	4
精神障害	343	8	275	60
高次脳機能障害	26	1	16	9
難病	249	22	110	117
障害認定を受けていない	62	23	21	18
その他	87	16	33	38
わからない	22	12	5	5

②見開きでコメントの根拠
を確認できるようページ配
置を見直し
③年代別に積み上げ方式に
グラフを修正



情報提供の充実・障害理解・差別解消

問 13. 市等の情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか (〇はいくつでも)。

【児童】

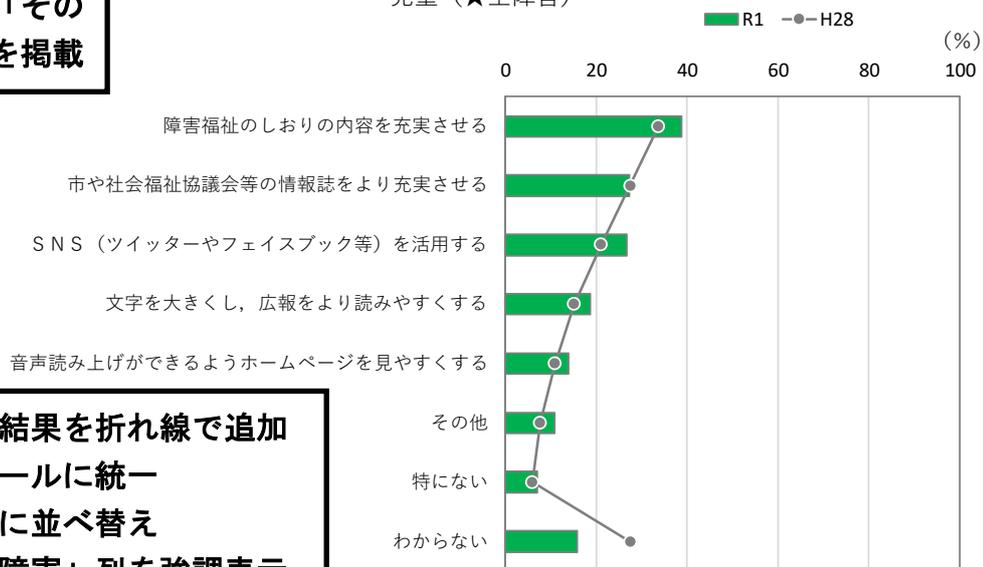
児童全体では、「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が4割近くで最も多く、次いで「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」「SNS(ツイッターやフェイスブック等)を活用する」となっています。発達障害では、他の障害と比べ、上位項目のいずれも多く挙げる傾向がみられます。

「その他」の回答は「動画や写真、イラスト等を活用して分かりやすく伝える」「しおりなどの配布場所を増やす」「本人に必要な情報が直接届くようにする」などがありました。

前回調査と比べ、児童全体では大きな傾向の違いはみられません。

④上の分析欄に「その他」の主要回答を掲載

児童 (★全障害)



(単位: %)

⑤グラフは前回結果を折れ線で追加

⑥100%スケールに統一

⑦ランキング順に並べ替え

⑧下表は「★全障害」列を強調表示

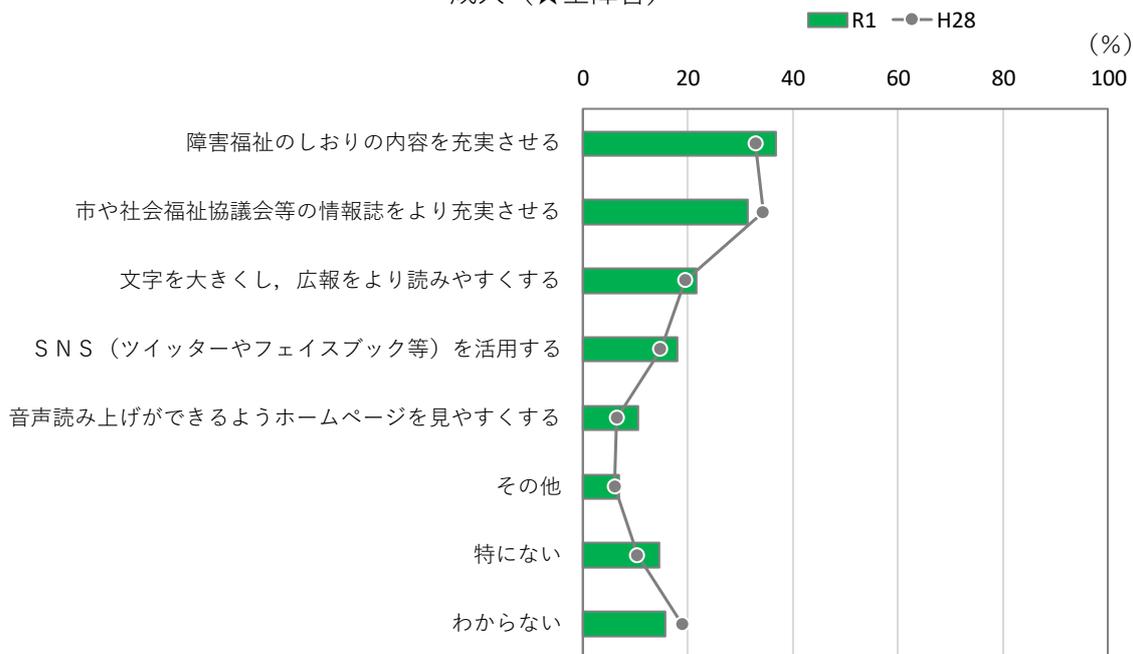
児童	★全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数(人)	359	3	13	32	226	163	8	1	17	21	22	27
障害福祉のしおりの内容を充実させる	38.7	33.3	53.8	59.4	43.8	42.3	50.0	100.0	29.4	42.9	9.1	37.0
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	27.3	0.0	23.1	28.1	28.3	33.7	37.5	0.0	17.6	28.6	13.6	22.2
SNS(ツイッターやフェイスブック等)を活用する	26.7	0.0	7.7	25.0	23.0	32.5	25.0	0.0	23.5	28.6	22.7	22.2
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	18.7	0.0	15.4	25.0	19.5	17.8	12.5	100.0	11.8	14.3	22.7	11.1
音声読み上げができるようホームページを見やすくする	13.9	0.0	15.4	9.4	14.2	16.0	12.5	0.0	11.8	4.8	27.3	11.1
その他	10.9	0.0	15.4	18.8	12.4	9.8	0.0	0.0	17.6	9.5	4.5	11.1
特にない	7.0	0.0	0.0	6.3	4.0	3.7	25.0	0.0	17.6	19.0	22.7	11.1
わからない	15.9	66.7	15.4	9.4	15.9	14.1	12.5	0.0	5.9	9.5	22.7	29.6

【成人】

成人全体では、「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が3割以上で最も多く、次いで「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」が3割程度となっています。

前回調査と比べると、1位と2位が入れ替わっていますが、大きな傾向の違いはみられません。

成人（★全障害）



(単位：%)

成人	★全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数（人）	760	30	54	97	257	89	251	14	32	104	17	34
障害福祉のしおりの内容を充実させる	36.8	60.0	48.1	49.5	51.8	41.6	34.7	14.3	31.3	31.7	17.6	26.5
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	31.4	40.0	37.0	36.1	36.6	42.7	25.5	21.4	43.8	30.8	41.2	26.5
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	21.6	33.3	31.5	19.6	21.8	19.1	20.3	35.7	25.0	28.8	23.5	20.6
SNS（ツイッターやフェイスブック等）を活用する	18.0	16.7	22.2	17.5	13.6	23.6	18.3	14.3	31.3	18.3	29.4	20.6
音声読み上げができるようホームページを見やすくする	10.5	23.3	1.9	8.2	8.9	20.2	7.6	14.3	12.5	11.5	17.6	14.7
その他	6.8	3.3	20.4	9.3	4.3	5.6	6.8	14.3	3.1	8.7	0.0	5.9
特にない	14.6	10.0	3.7	14.4	8.9	6.7	16.3	28.6	6.3	21.2	17.6	20.6
わからない	15.8	10.0	14.8	10.3	16.3	16.9	19.9	21.4	9.4	9.6	17.6	8.8

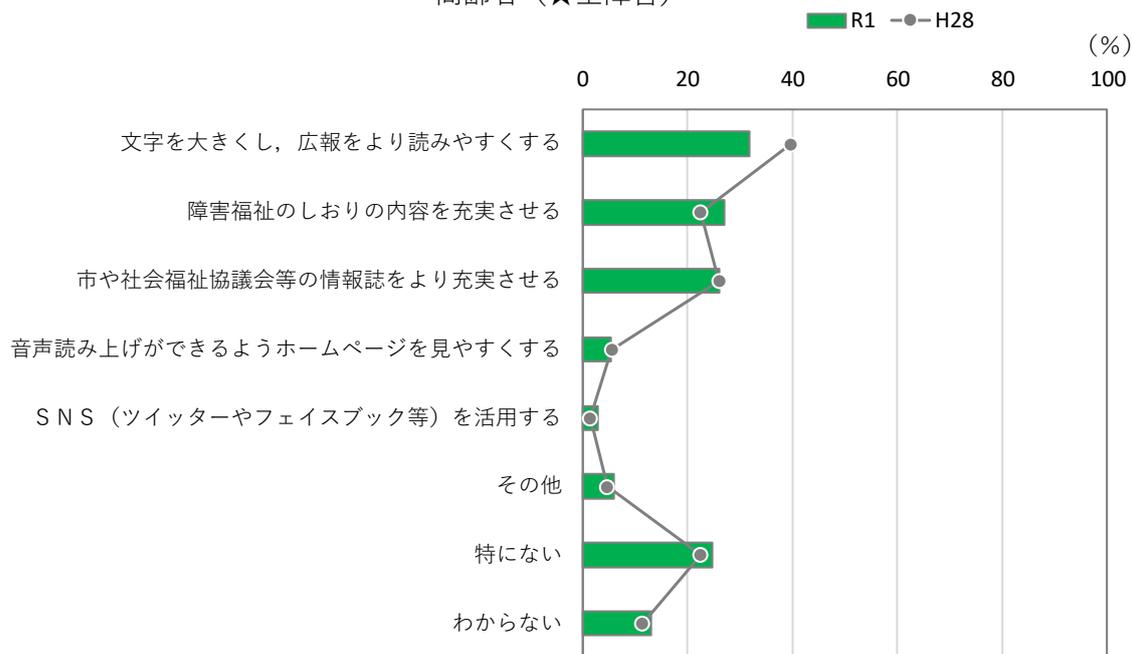
【高齢者】

高齢者全体では、「文字を大きくし、広報をより読みやすくする」が3割程度で最も多くなっています。

聴覚障害と精神障害は「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が最も多くなっています。

前回調査と比べ、「文字を大きくし、広報をより読みやすくする」が約10ポイント減少しています。

高齢者（★全障害）



(単位：%)

高齢者	★全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数(人)	524	54	66	138	13	4	56	8	126	108	18	41
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	31.9	31.5	34.8	31.9	23.1	75.0	25.0	37.5	31.0	34.3	33.3	31.7
障害福祉のしおりの内容を充実させる	27.1	22.2	36.4	29.7	46.2	50.0	35.7	12.5	27.0	16.7	16.7	19.5
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	26.1	18.5	30.3	28.3	53.8	25.0	26.8	37.5	21.4	22.2	33.3	24.4
音声読み上げができるようホームページを見やすくする	5.3	25.9	4.5	5.1	0.0	0.0	3.6	12.5	0.8	4.6	5.6	4.9
SNS（ツイッターやフェイスブック等）を活用する	2.9	1.9	1.5	1.4	7.7	0.0	8.9	0.0	4.0	4.6	5.6	0.0
その他	5.9	5.6	7.6	4.3	0.0	0.0	3.6	0.0	5.6	6.5	16.7	9.8
特にない	24.8	22.2	18.2	21.0	7.7	0.0	25.0	12.5	30.2	28.7	16.7	24.4
わからない	13.2	13.0	16.7	18.8	15.4	0.0	16.1	25.0	9.5	14.8	5.6	14.6

こども ～小学校入学後（学齡期）～

（問 35～39 は小学校入学後の方のみ回答）

問 35. （※保護者の方がお答えください）

学校生活で困った、困っていることはありますか（〇はいくつでも）。

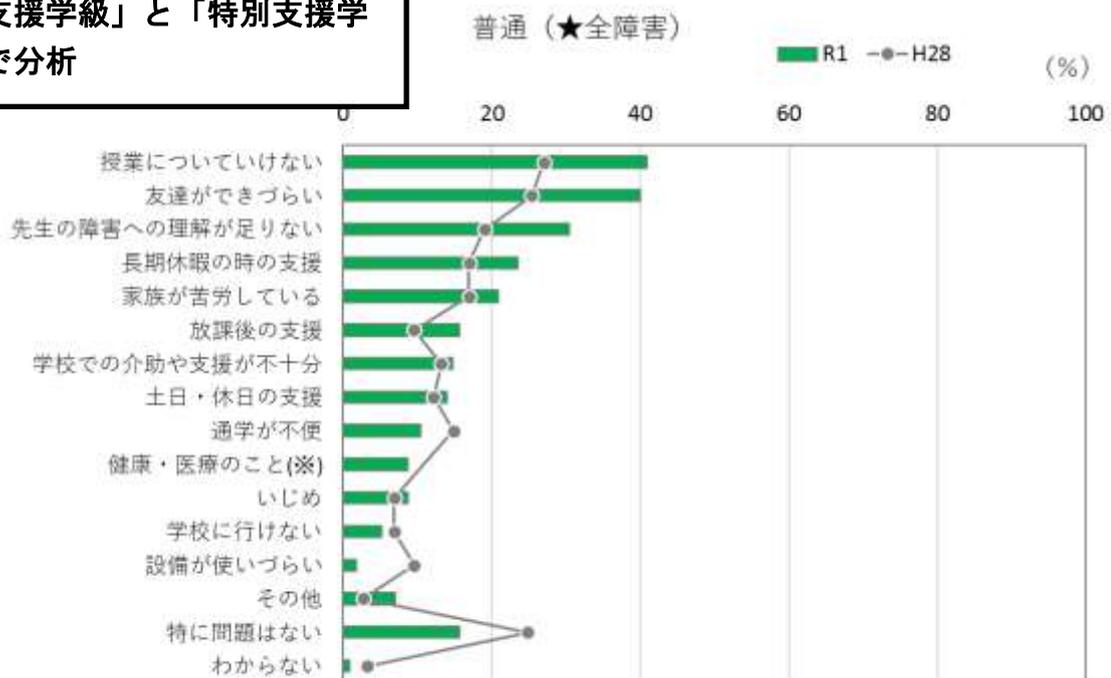
【小学校・中学校・高校（普通学級または特別支援学級）】

「授業についていけない」「友達ができづらい」が4割程度と多く、次いで「先生の障害への理解が足りない」が3割程度となっています。

障害種別でみると、発達障害では「友達ができづらい」と「先生の障害への理解が足りない」の割合が、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

前回調査と比べ、「授業についていけない」が約14ポイント増加、「友達ができづらい」が約15ポイント増加しています。

⑨子ども（学齡期）パートは「普通学級及び特別支援学級」と「特別支援学校」の比較で分析



※H28から選択肢を統合

(単位：%)

小学校・中学校・高校	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数（人）	115	1	1	4	61	56	3	0	6	5	12	8
授業についていけない	40.9	100.0	0.0	0.0	36.1	39.3	33.3	0.0	33.3	40.0	75.0	62.5
友達ができづらい	40.0	100.0	100.0	50.0	37.7	60.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	25.0
先生の障害への理解が足りない	30.4	0.0	0.0	25.0	32.8	41.1	33.3	0.0	0.0	20.0	16.7	37.5
長期休暇の時の支援	23.5	100.0	0.0	0.0	23.0	33.9	0.0	0.0	16.7	40.0	16.7	25.0
家族が苦労している	20.9	100.0	0.0	0.0	23.0	28.6	33.3	0.0	16.7	20.0	16.7	25.0
放課後の支援	15.7	0.0	100.0	25.0	16.4	21.4	0.0	0.0	0.0	20.0	16.7	12.5
学校での介助や支援が不十分	14.8	0.0	0.0	25.0	16.4	19.6	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0
土日・休日の支援	13.9	0.0	100.0	25.0	16.4	17.9	0.0	0.0	0.0	20.0	8.3	0.0
通学が不便	10.4	0.0	0.0	25.0	14.8	12.5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	12.5
健康・医療のこと	8.7	100.0	100.0	25.0	8.2	7.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	25.0
いじめ	8.7	100.0	0.0	0.0	6.6	8.9	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	12.5
学校に行けない	5.2	0.0	0.0	0.0	6.6	1.8	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	12.5
設備が使いづらい	1.7	0.0	0.0	25.0	3.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.0	0.0	0.0	0.0	9.8	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
特に問題はない	15.7	0.0	0.0	25.0	16.4	7.1	33.3	0.0	50.0	40.0	0.0	12.5
わからない	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

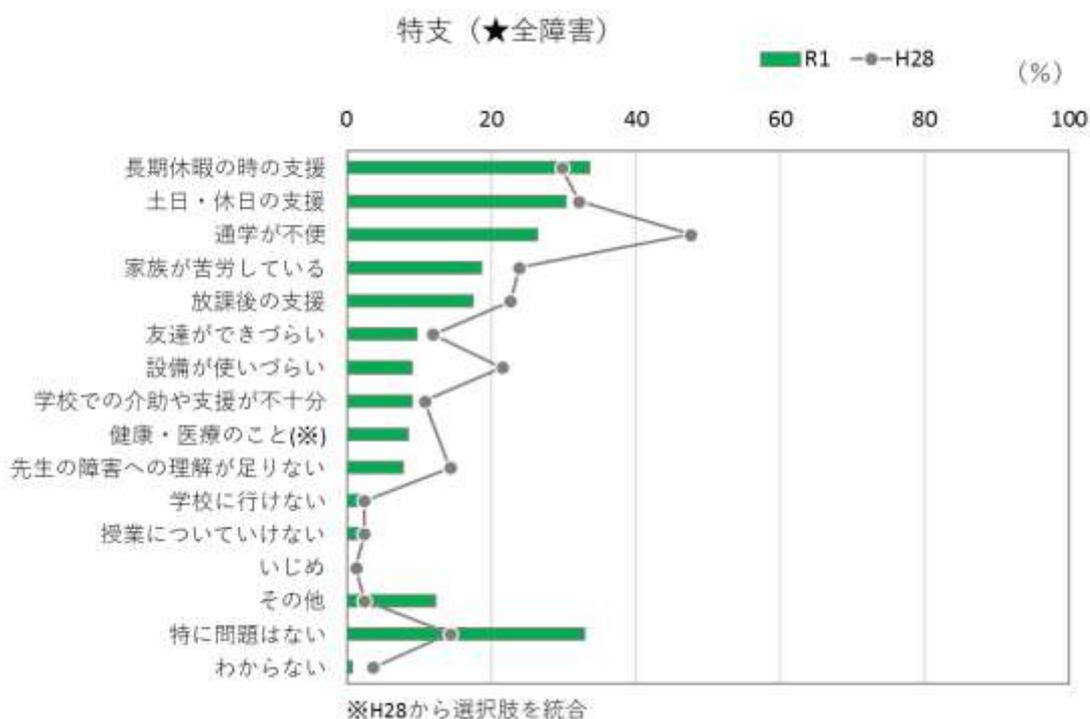
【特別支援学校の小学部・中学部・高等部】

「長期休暇の時の支援」「土日・休日の支援」と回答した人が多く、それぞれ 3 割程度となっています。

障害種別で見ると、発達障害は「長期休暇の時の支援」の割合が、肢体不自由は「通学が不便」の割合が、他の障害と比べ多い傾向が見られます。

「その他」の回答は「校舎の老朽化」「学校の設備が古い」といった学校の施設整備に関することなどがありました。

前回調査と比べ、「通学が不便」が約 21 ポイント減少し、「特に問題はない」が約 19 ポイント増加しています。



(単位：%)

特別支援学校	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数（人）	155	2	10	19	135	70	3	0	5	7	0	5
長期休暇の時の支援	33.5	50.0	10.0	31.6	33.3	44.3	66.7	0.0	20.0	57.1	0.0	40.0
土日・休日の支援	30.3	0.0	40.0	31.6	31.9	34.3	33.3	0.0	20.0	42.9	0.0	20.0
通学が不便	26.5	50.0	10.0	47.4	25.2	22.9	0.0	0.0	40.0	71.4	0.0	60.0
家族が苦労している	18.7	50.0	10.0	26.3	20.7	20.0	33.3	0.0	20.0	14.3	0.0	20.0
放課後の支援	17.4	50.0	10.0	21.1	17.8	15.7	66.7	0.0	20.0	42.9	0.0	20.0
友達ができづらい	9.7	0.0	20.0	5.3	10.4	11.4	33.3	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0
設備が使いづらい	9.0	0.0	0.0	10.5	9.6	10.0	0.0	0.0	20.0	14.3	0.0	0.0
学校での介助や支援が不十分	9.0	0.0	10.0	21.1	10.4	11.4	0.0	0.0	20.0	28.6	0.0	40.0
健康・医療のこと	8.4	0.0	20.0	10.5	8.1	11.4	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
先生の障害への理解が足りない	7.7	0.0	0.0	10.5	8.9	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
学校に行けない	2.6	0.0	0.0	0.0	3.0	4.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
授業についていけない	1.9	0.0	0.0	5.3	1.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
いじめ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.3	0.0	0.0	15.8	10.4	11.4	0.0	0.0	40.0	14.3	0.0	20.0
特に問題はない	32.9	50.0	40.0	15.8	33.3	30.0	33.3	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
わからない	0.6	0.0	0.0	5.3	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

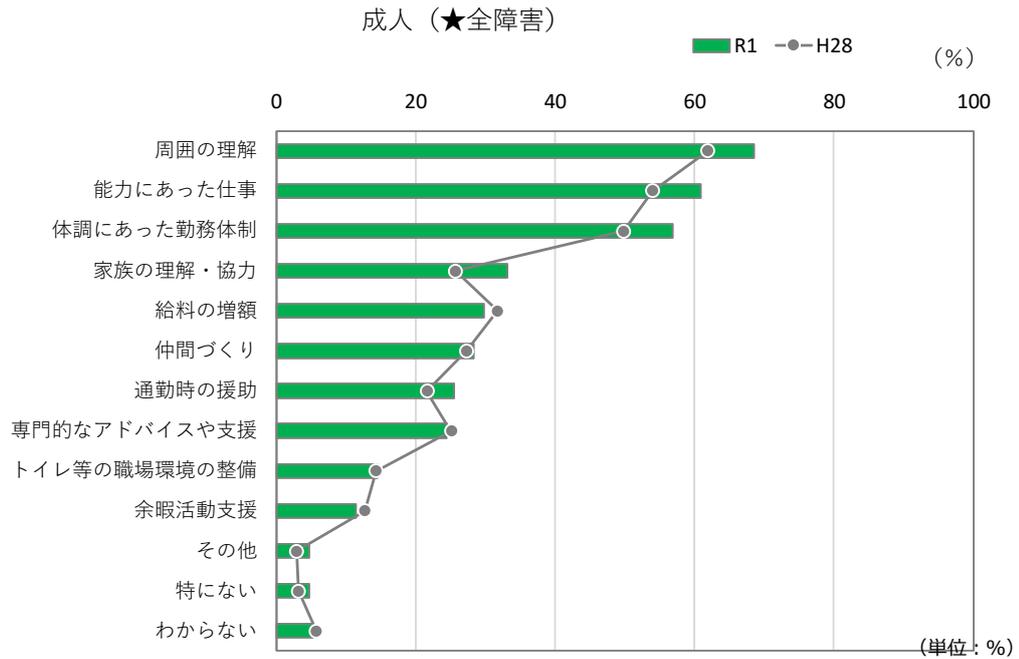
問 49. 長期的に働くためにはどのようなことが必要ですか（○はいくつでも）。

【成人】

成人全体では、「周囲の理解」が7割近くと最も多く、次いで「能力にあった仕事」「体調にあった勤務体制」となっています。

障害種別でみると、発達障害は、「周囲の理解」「能力にあった仕事」が、それぞれ他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。



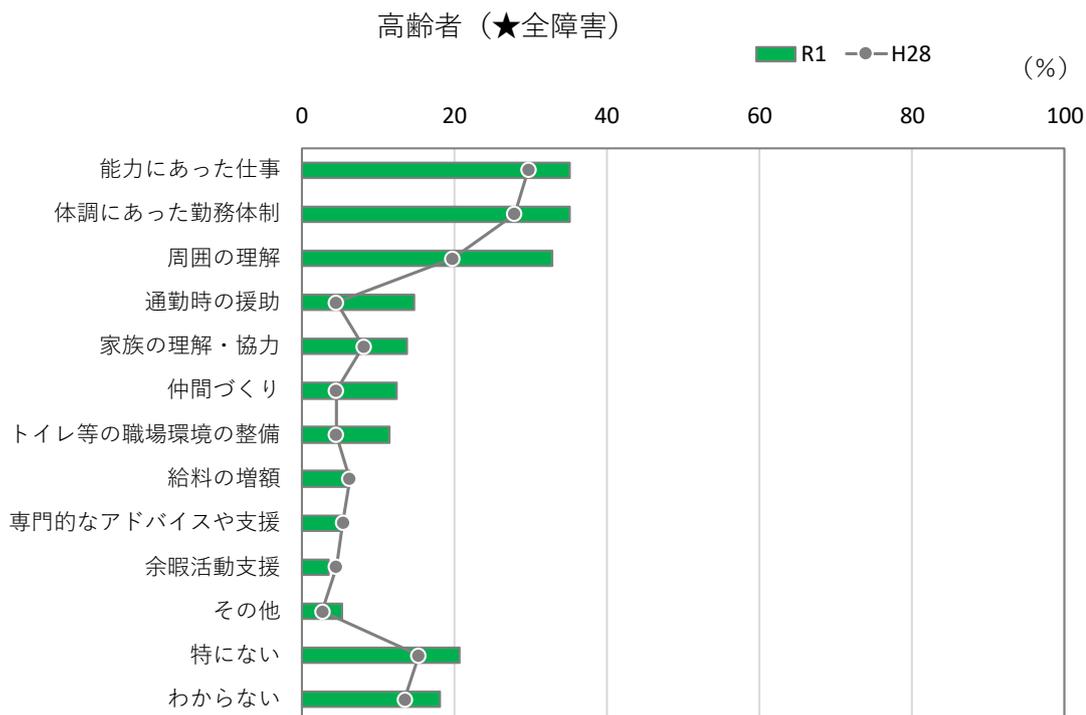
成人	★全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数（人）	712	27	46	75	228	85	251	13	31	95	19	29
周囲の理解	68.5	63.0	73.9	64.0	69.7	84.7	68.1	100.0	64.5	73.7	31.6	62.1
能力にあった仕事	61.0	51.9	54.3	49.3	69.7	83.5	62.2	84.6	61.3	46.3	57.9	44.8
体調にあった勤務体制	56.9	40.7	37.0	58.7	35.1	51.8	74.9	92.3	77.4	73.7	78.9	65.5
家族の理解・協力	33.1	25.9	30.4	28.0	34.6	36.5	32.7	53.8	32.3	34.7	42.1	34.5
給料の増額	29.8	25.9	26.1	26.7	24.1	38.8	35.5	23.1	22.6	33.7	21.1	27.6
仲間づくり	28.4	22.2	28.3	21.3	31.1	34.1	35.1	46.2	12.9	22.1	10.5	24.1
通勤時の援助	25.6	55.6	23.9	44.0	30.3	28.2	21.1	69.2	29.0	21.1	15.8	24.1
専門的なアドバイスや支援	24.4	33.3	21.7	22.7	27.6	47.1	28.7	46.2	16.1	9.5	21.1	31.0
トイレ等の職場環境の整備	14.5	18.5	10.9	33.3	14.5	16.5	12.0	30.8	19.4	22.1	5.3	24.1
余暇活動支援	11.4	3.7	4.3	6.7	19.3	30.6	10.4	7.7	6.5	5.3	0.0	10.3
その他	4.8	7.4	2.2	4.0	3.5	8.2	7.2	15.4	0.0	4.2	0.0	10.3
特にない	4.8	7.4	2.2	10.7	4.8	1.2	4.0	0.0	9.7	5.3	0.0	3.4
わからない	5.3	11.1	10.9	9.3	9.6	1.2	3.6	0.0	0.0	2.1	0.0	13.8

【高齢者】

高齢者全体では、「能力にあった仕事」「体調にあった勤務体制」「周囲の理解」が3割以上、成人と比べると低くなっています。

障害種別にみると、難病では、上記3つに加えて、「家族の理解・協力」「トイレ等の職場環境の整備」が他の障害と比べ多くなっています。

前回調査との比較では、「能力にあった仕事」は約6ポイント減少、「体調にあった勤務体制」は約7ポイント減少し、「周囲の理解」が約13ポイント増加、「通勤時の援助」が約10ポイント増加しています。



(単位：%)

高齢者	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	304	23	33	75	6	2	44	4	72	67	12	17
能力にあった仕事	35.2	34.8	27.3	33.3	66.7	100.0	38.6	50.0	31.9	32.8	25.0	35.3
体調にあった勤務体制	35.2	34.8	15.2	33.3	33.3	50.0	43.2	25.0	27.8	41.8	50.0	17.6
周囲の理解	32.9	26.1	48.5	26.7	50.0	100.0	36.4	50.0	23.6	38.8	33.3	29.4
通勤時の援助	14.8	30.4	3.0	12.0	33.3	50.0	11.4	25.0	6.9	19.4	25.0	17.6
家族の理解・協力	13.8	17.4	9.1	8.0	16.7	0.0	15.9	0.0	2.8	22.4	25.0	23.5
仲間づくり	12.5	13.0	12.1	5.3	50.0	100.0	25.0	25.0	4.2	13.4	16.7	5.9
トイレ等の職場環境の整備	11.5	17.4	0.0	17.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	20.9	8.3	11.8
給料の増額	6.3	13.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.8	0.0	5.6	10.4	16.7	5.9
専門的なアドバイスや支援	5.3	13.0	0.0	2.7	33.3	50.0	11.4	0.0	1.4	4.5	8.3	0.0
余暇活動支援	3.6	4.3	9.1	2.7	0.0	0.0	0.0	25.0	1.4	4.5	0.0	11.8
その他	5.3	13.0	3.0	12.0	0.0	50.0	9.1	0.0	5.6	1.5	0.0	11.8
特になし	20.7	13.0	18.2	24.0	0.0	0.0	11.4	25.0	25.0	22.4	16.7	17.6
わからない	18.1	26.1	24.2	17.3	16.7	0.0	18.2	25.0	22.2	13.4	25.0	11.8

相談体制

問 52. 主に相談したい内容は何か（〇はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「将来のこと」が5割以上、次いで「学校や教育関係のこと」「福祉サービスのこと」が4割以上となっています。

障害種別で見ると、肢体不自由については「医療や健康のこと」「福祉サービスのこと」が他の障害と比べ多い傾向が見られます。



※H28は成人、高齢者が対象の問のため、児童は比較なし

⑩問によって前回回答対象としていなかった年代がある場合、比較はなし

(単位：%)

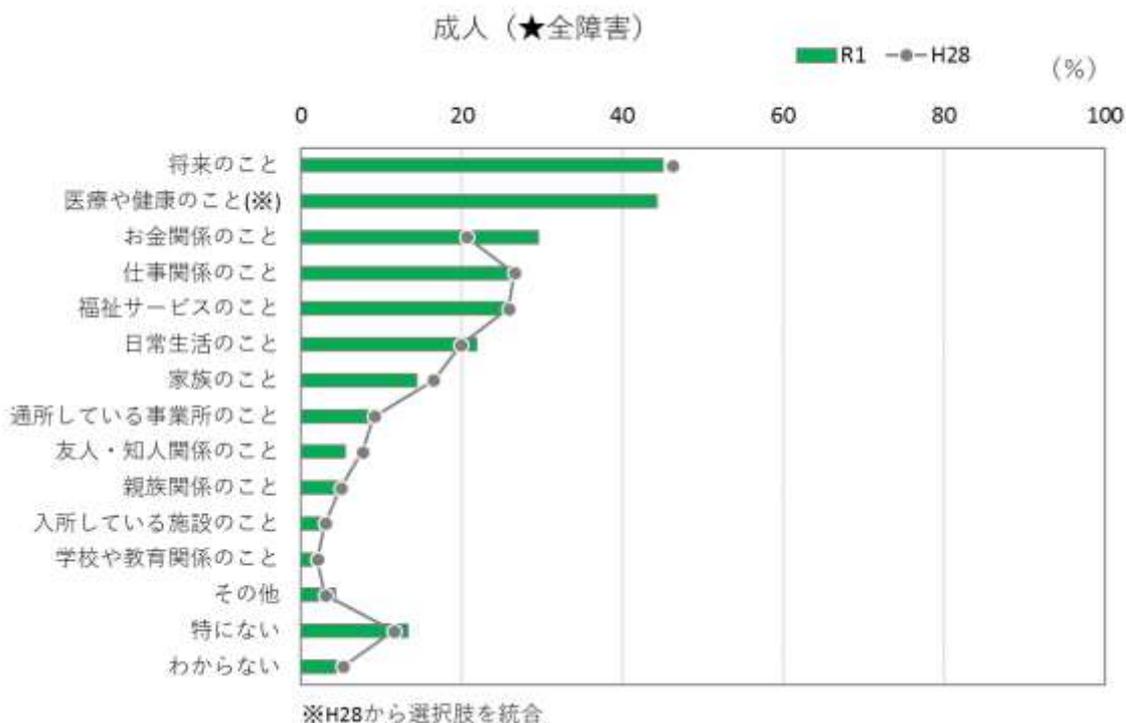
児童	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	372	2	13	33	237	167	8	1	19	22	23	28
将来のこと	56.2	0.0	76.9	60.6	63.7	62.3	62.5	0.0	31.6	54.5	30.4	42.9
学校や教育関係のこと	43.8	0.0	46.2	42.4	37.6	52.1	50.0	0.0	47.4	50.0	43.5	60.7
福祉サービスのこと	41.9	50.0	76.9	75.8	52.7	44.3	37.5	100.0	31.6	36.4	4.3	25.0
日常生活のこと	33.3	50.0	46.2	39.4	33.8	42.5	50.0	0.0	21.1	31.8	17.4	28.6
医療や健康のこと	29.6	50.0	38.5	42.4	34.2	25.1	50.0	100.0	57.9	40.9	8.7	28.6
お金関係のこと	22.3	0.0	38.5	30.3	26.6	22.8	37.5	0.0	31.6	27.3	13.0	14.3
仕事関係のこと	17.2	0.0	23.1	3.0	20.3	18.6	12.5	0.0	21.1	9.1	8.7	7.1
家族のこと	11.6	0.0	7.7	9.1	13.9	15.6	37.5	0.0	5.3	9.1	4.3	7.1
通所している事業所のこと	8.6	50.0	15.4	15.2	12.2	9.6	0.0	0.0	5.3	4.5	4.3	3.6
友人・知人関係のこと	7.3	0.0	7.7	0.0	5.1	11.4	25.0	0.0	5.3	4.5	8.7	7.1
親族関係のこと	2.4	0.0	0.0	3.0	2.5	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
入所している施設のこと	2.2	50.0	0.0	9.1	3.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.1	0.0	0.0	6.1	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
特になし	7.3	0.0	0.0	0.0	6.3	2.4	12.5	0.0	5.3	18.2	13.0	14.3
わからない	2.7	0.0	0.0	0.0	2.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	3.6

【成人】

成人全体では、「将来のこと」「医療や健康のこと」が4割以上となっています。

障害種別でみると、発達障害は「将来のこと」が7割近くと、他の障害と比べ多くなっています。また、発達障害と精神障害は「お金関係のこと」「仕事関係のこと」「日常生活のこと」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、大きな傾向の違いは見られません。



⑪ 選択肢によっては新たに追加したものや、前回あった2つの選択肢を1つに統合したもの、選択肢を2つに分けたものがあり、単純比較が難しい場合はその旨を※で欄外に表記

(単位：%)

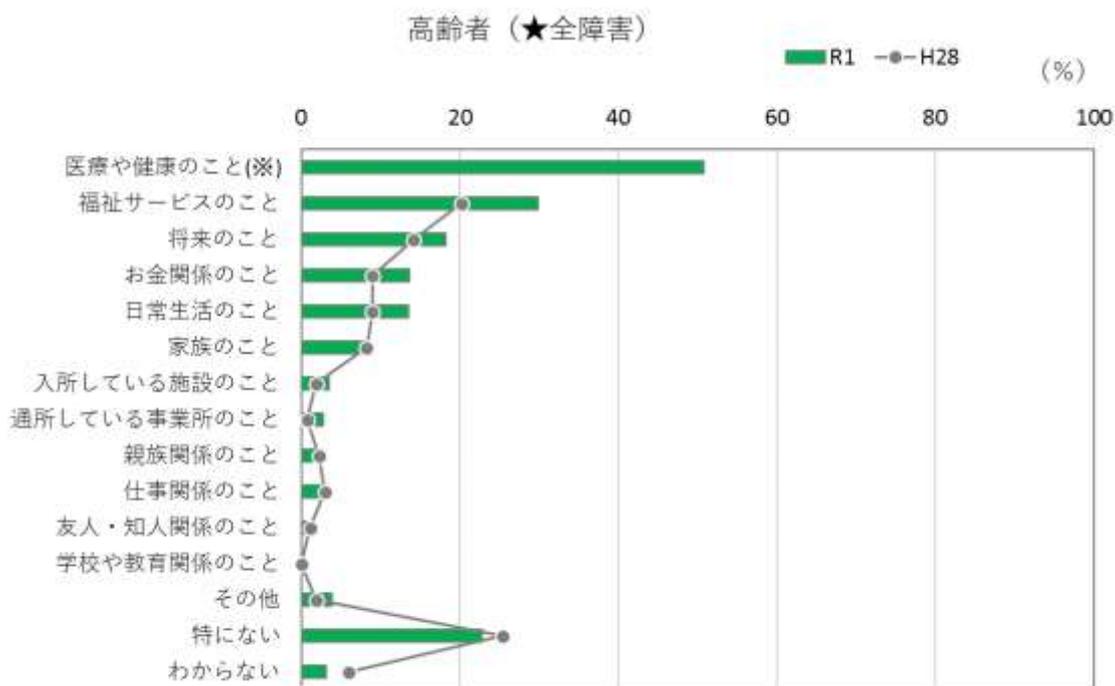
成人	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	811	34	54	101	272	94	270	16	32	109	21	36
将来のこと	45.0	55.9	38.9	44.6	57.4	67.0	46.3	43.8	31.3	25.7	38.1	44.4
医療や健康のこと	44.3	38.2	51.9	55.4	34.9	47.9	52.6	37.5	50.0	55.0	47.6	41.7
お金関係のこと	29.5	20.6	22.2	20.8	23.2	42.6	43.0	37.5	21.9	24.8	33.3	22.2
仕事関係のこと	27.0	14.7	22.2	12.9	18.8	41.5	38.9	31.3	21.9	20.2	33.3	33.3
福祉サービスのこと	25.8	50.0	33.3	40.6	28.7	37.2	27.4	25.0	34.4	19.3	4.8	16.7
日常生活のこと	21.8	23.5	20.4	19.8	21.7	40.4	30.7	25.0	18.8	14.7	4.8	16.7
家族のこと	14.3	11.8	13.0	9.9	9.6	16.0	24.8	31.3	12.5	8.3	19.0	11.1
通所している事業所のこと	8.3	8.8	7.4	9.9	15.1	13.8	7.0	12.5	3.1	2.8	0.0	5.6
友人・知人関係のこと	5.4	5.9	7.4	2.0	5.5	8.5	8.1	0.0	3.1	0.0	9.5	8.3
親族関係のこと	5.2	2.9	5.6	3.0	3.3	6.4	10.0	0.0	3.1	0.0	9.5	2.8
入所している施設のこと	2.8	0.0	3.7	5.9	7.0	5.3	1.9	12.5	3.1	0.0	0.0	0.0
学校や教育関係のこと	2.0	0.0	7.4	1.0	0.0	3.2	1.5	0.0	0.0	0.9	14.3	2.8
その他	4.2	2.9	5.6	5.0	3.7	5.3	7.0	12.5	0.0	3.7	0.0	8.3
特になし	13.3	11.8	13.0	9.9	8.1	4.3	8.9	12.5	25.0	23.9	38.1	22.2
わからない	4.3	2.9	5.6	2.0	5.9	1.1	4.8	6.3	6.3	2.8	0.0	0.0

【高齢者】

高齢者全体では、「医療や健康のこと」が5割程度と最も多く、次いで「福祉サービスのこと」となっています。

精神障害については、「将来のこと」が他の障害と比べ、多くなっています。

前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、「福祉サービスのこと」が約10ポイント減少しています。



(単位：%)

高齢者	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他
有効回答数(人)	512	46	61	133	12	4	54	6	122	112	17	39
医療や健康のこと	50.8	45.7	59.0	49.6	66.7	75.0	50.0	33.3	54.9	48.2	52.9	46.2
福祉サービスのこと	29.9	32.6	42.6	33.1	16.7	25.0	24.1	16.7	25.4	26.8	41.2	30.8
将来のこと	18.2	15.2	24.6	18.8	25.0	25.0	29.6	0.0	9.8	18.8	17.6	15.4
お金関係のこと	13.7	13.0	8.2	15.0	8.3	0.0	22.2	16.7	12.3	12.5	23.5	12.8
日常生活のこと	13.5	15.2	9.8	13.5	16.7	0.0	16.7	16.7	10.7	19.6	17.6	12.8
家族のこと	8.2	10.9	9.8	6.8	8.3	0.0	11.1	0.0	6.6	10.7	5.9	5.1
入所している施設のこと	3.5	4.3	4.9	4.5	16.7	0.0	7.4	16.7	2.5	2.7	0.0	5.1
通所している事業所のこと	2.7	4.3	3.3	3.8	33.3	25.0	3.7	33.3	0.8	0.9	0.0	0.0
親族関係のこと	2.5	2.2	3.3	2.3	8.3	0.0	1.9	0.0	3.3	2.7	0.0	2.6
仕事関係のこと	2.3	2.2	0.0	1.5	16.7	25.0	3.7	0.0	2.5	0.9	5.9	0.0
友人・知人関係のこと	0.8	2.2	1.6	0.8	0.0	25.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校や教育関係のこと	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.9	4.3	3.3	3.0	0.0	25.0	7.4	0.0	4.1	6.3	5.9	2.6
特になし	22.9	30.4	14.8	21.8	16.7	0.0	9.3	33.3	24.6	21.4	23.5	35.9
わからない	3.1	2.2	4.9	4.5	0.0	0.0	1.9	16.7	3.3	4.5	0.0	0.0

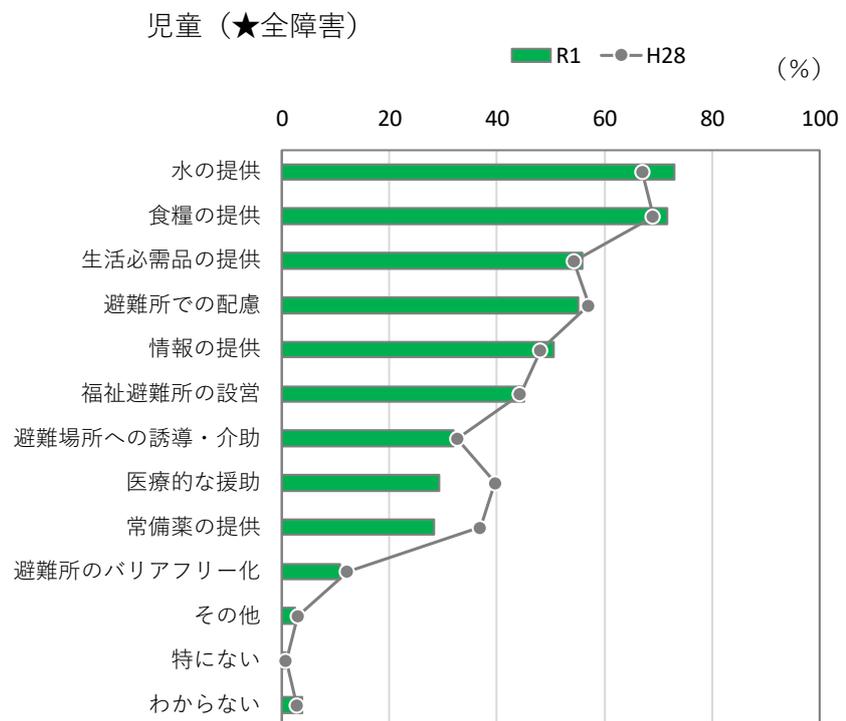
問 65. 災害が起きた時に支援してほしいことは何ですか（○はいくつでも）。

【児童】

児童全体では、「水の提供」「食糧の提供」の割合が多く、どちらも7割以上となっています。

障害種別でみると、肢体不自由は「生活必需品の提供」「避難場所への誘導・介助」「避難所のバリアフリー化」が、それぞれ他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べ、「医療的な援助」が約10ポイント減少し、「常備薬の提供」が約9ポイント減少しています。



(単位：%)

児童	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数(人)	379	3	13	33	241	170	8	1	20	22	22	28
水の提供	73.1	100.0	76.9	75.8	74.3	70.6	87.5	100.0	70.0	72.7	72.7	60.7
食糧の提供	71.8	100.0	69.2	66.7	73.0	71.8	87.5	100.0	70.0	59.1	77.3	60.7
生活必需品の提供	55.9	66.7	69.2	75.8	58.5	52.9	50.0	0.0	45.0	54.5	72.7	42.9
避難所での配慮	55.1	66.7	53.8	66.7	61.0	63.5	25.0	0.0	45.0	40.9	31.8	39.3
情報の提供	50.7	33.3	69.2	66.7	51.0	54.7	50.0	0.0	35.0	50.0	50.0	50.0
福祉避難所の設営	45.1	33.3	53.8	66.7	51.9	53.5	62.5	0.0	30.0	36.4	18.2	28.6
避難場所への誘導・介助	31.9	66.7	69.2	54.5	39.0	29.4	25.0	0.0	35.0	36.4	13.6	10.7
医療的な援助	29.3	0.0	30.8	36.4	26.6	26.5	37.5	0.0	65.0	36.4	36.4	28.6
常備薬の提供	28.2	66.7	15.4	27.3	26.6	25.9	37.5	0.0	55.0	54.5	31.8	10.7
避難所のバリアフリー化	10.8	33.3	23.1	48.5	13.3	8.8	25.0	0.0	25.0	18.2	0.0	7.1
その他	2.4	0.0	0.0	12.1	2.5	1.2	0.0	0.0	10.0	4.5	0.0	7.1
特になし	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0
わからない	3.7	0.0	0.0	0.0	2.9	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	10.7

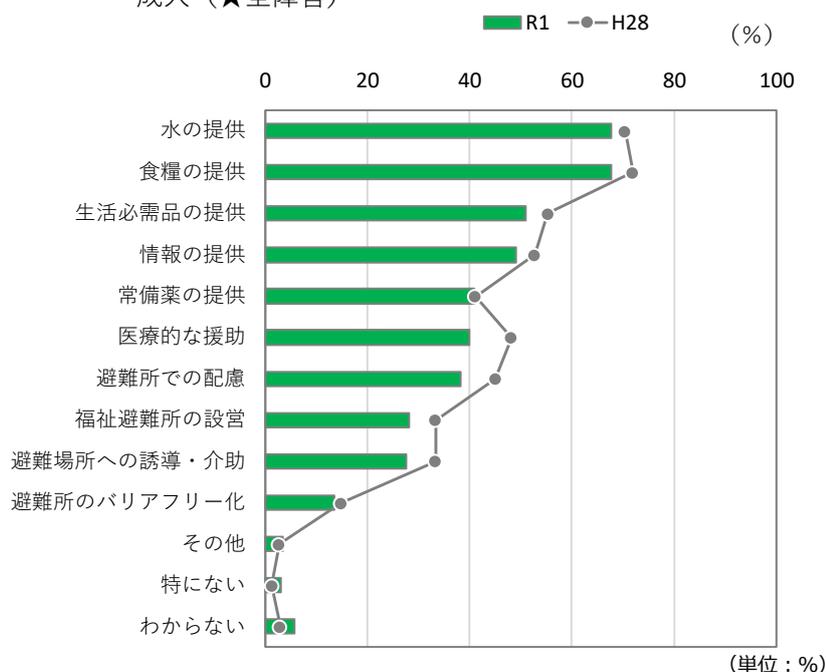
【成人】

成人全体についても、児童と同様に「水の提供」「食糧の提供」の割合が多く、それぞれ7割程度となっています。

障害種別でみると、肢体不自由は「福祉避難所の設営」「避難所のバリアフリー化」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査と比べると、「医療的な援助」が約8ポイント減少しています。

成人（★全障害）

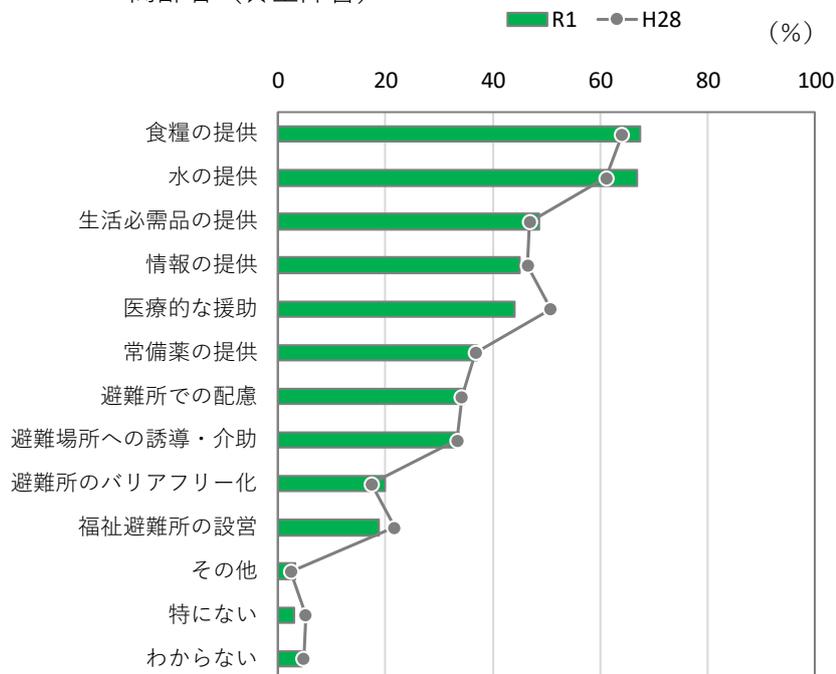


成人	★全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない その他
有効回答数（人）	809	34	58	102	271	94	271	14	32	110	20	35
水の提供	67.7	76.5	62.1	77.5	65.7	62.8	69.7	64.3	59.4	73.6	70.0	65.7
食糧の提供	67.7	70.6	69.0	78.4	68.3	67.0	68.3	78.6	59.4	68.2	70.0	65.7
生活必需品の提供	51.1	50.0	50.0	60.8	52.0	54.3	53.9	57.1	37.5	46.4	50.0	57.1
情報の提供	49.1	61.8	69.0	52.9	43.5	46.8	48.3	57.1	43.8	45.5	55.0	54.3
常備菜の提供	40.9	35.3	24.1	45.1	34.3	38.3	52.0	64.3	43.8	50.0	30.0	42.9
医療的な援助	40.0	35.3	37.9	48.0	32.5	38.3	51.7	50.0	46.9	44.5	35.0	37.1
避難所での配慮	38.3	58.8	37.9	51.0	45.8	47.9	36.2	35.7	37.5	28.2	40.0	45.7
福祉避難所の設営	28.2	47.1	37.9	51.0	42.4	40.4	23.6	35.7	15.6	18.2	5.0	17.1
避難場所への誘導・介助	27.6	38.2	34.5	40.2	38.0	26.6	24.4	50.0	15.6	21.8	15.0	34.3
避難所のバリアフリー化	13.5	50.0	25.9	45.1	15.9	8.5	8.9	35.7	12.5	10.9	5.0	11.4
その他	3.5	8.8	3.4	6.9	4.1	6.4	3.3	7.1	0.0	5.5	0.0	11.4
特にない	3.1	2.9	1.7	2.9	2.6	1.1	3.7	0.0	3.1	2.7	5.0	2.9
わからない	5.7	2.9	3.4	2.0	7.0	9.6	7.0	0.0	9.4	1.8	0.0	8.6

【高齢者】

高齢者全体では、児童、成人と同様「水の提供」「食糧の提供」が多くなっています。
 前回調査と比べると、大きな傾向の違いは見られません。

高齢者（★全障害）



(単位：%)

高齢者	★全障害	視覚	聴覚	肢体	知的	発達	精神	高次脳	内部	難病	未認定	わからない・その他
有効回答数 (人)	522	49	66	139	13	2	53	8	126	110	18	38
食糧の提供	67.4	61.2	72.7	66.2	61.5	100.0	64.2	62.5	62.7	66.4	77.8	84.2
水の提供	66.9	57.1	74.2	63.3	53.8	100.0	58.5	75.0	65.9	68.2	72.2	86.8
生活必需品の提供	48.7	38.8	37.9	48.2	61.5	100.0	37.7	37.5	51.6	48.2	77.8	57.9
情報の提供	45.0	46.9	47.0	35.3	30.8	50.0	45.3	50.0	42.9	49.1	66.7	57.9
医療的な援助	44.1	38.8	45.5	46.0	38.5	50.0	24.5	25.0	46.8	53.6	55.6	50.0
常備菜の提供	37.0	38.8	34.8	35.3	38.5	0.0	39.6	25.0	34.9	42.7	50.0	39.5
避難所での配慮	34.7	38.8	45.5	40.3	53.8	0.0	26.4	50.0	26.2	39.1	27.8	39.5
避難場所への誘導・介助	33.5	51.0	30.3	43.9	46.2	50.0	26.4	50.0	27.0	30.9	33.3	23.7
避難所のバリアフリー化	19.9	44.9	18.2	30.9	15.4	0.0	3.8	12.5	8.7	26.4	16.7	18.4
福祉避難所の設営	18.8	26.5	18.2	18.7	46.2	50.0	11.3	12.5	18.3	17.3	33.3	15.8
その他	3.3	2.0	1.5	2.2	7.7	0.0	1.9	0.0	5.6	4.5	5.6	5.3
特になし	3.1	6.1	1.5	2.9	0.0	0.0	1.9	0.0	4.0	1.8	0.0	0.0
わからない	4.6	2.0	4.5	5.0	23.1	0.0	7.5	0.0	3.2	1.8	11.1	2.6

全体を通して

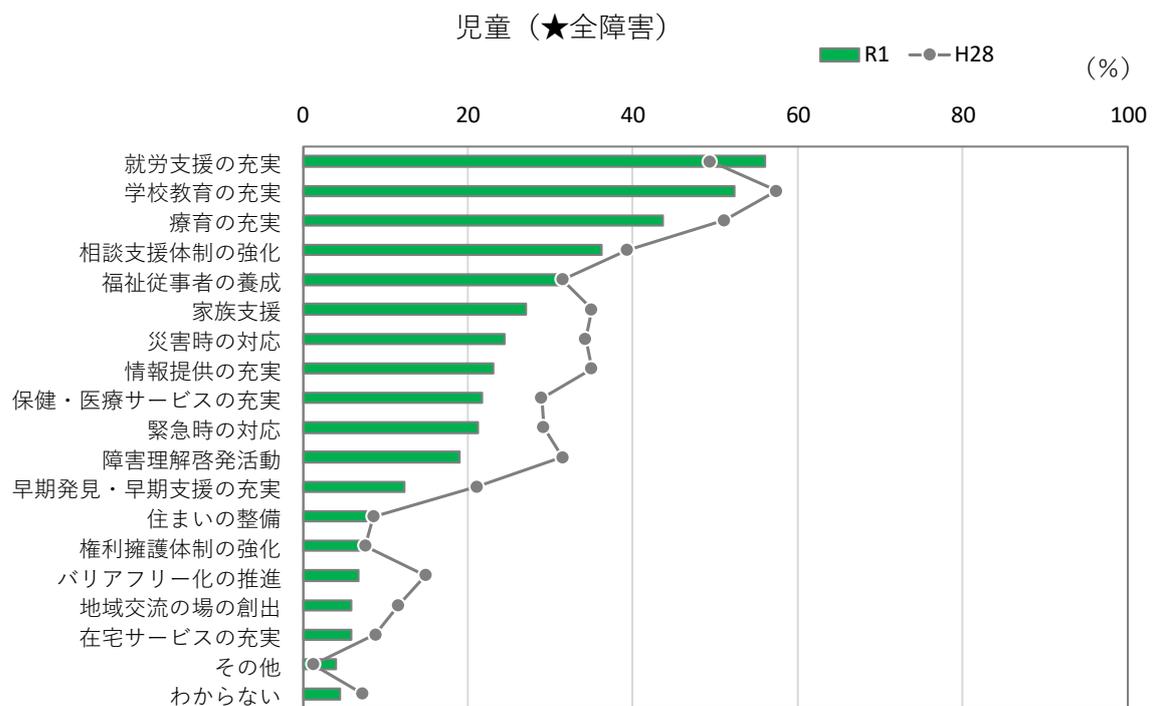
問 67. 柏市の資源や財源は限られており、特に必要な取組みから優先して実施していかなければなりません。今後、柏市の障害福祉の取組みについて、特に優先して力を入れてほしいものは何ですか（○は5つまで）。

【児童】

児童全体では、「就労支援の充実」が最も多く、5割以上となっています。

障害種別でみると、肢体不自由で「災害時の対応」「保健・医療サービスの充実」が、発達障害で「療育の充実」「相談支援体制の強化」が、他の障害と比べ多くなっています。

前回調査では回答可能な選択肢数に上限がなかったため単純な比較はできませんが、「情報提供の充実」が約12ポイント減少、「障害理解啓発活動」が約13ポイント減少しており、「就労支援の充実」が約7ポイント増加しています。



(単位：%)

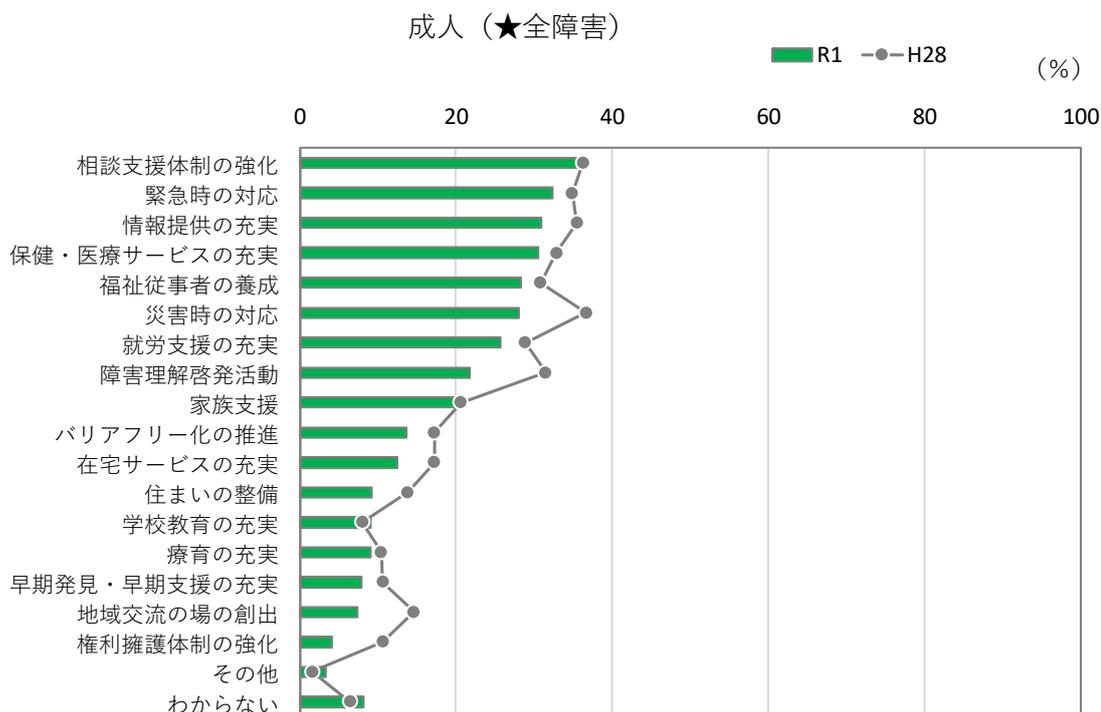
児童	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数(人)	373	3	13	33	238	167	8	1	19	20	22	28
就労支援の充実	56.0	66.7	76.9	39.4	60.1	61.1	75.0	0.0	36.8	50.0	45.5	39.3
学校教育の充実	52.3	0.0	61.5	45.5	47.1	59.9	50.0	0.0	47.4	35.0	59.1	64.3
療育の充実	43.7	0.0	61.5	39.4	42.9	52.1	12.5	0.0	26.3	20.0	45.5	50.0
相談支援体制の強化	36.2	33.3	53.8	36.4	39.9	44.3	37.5	0.0	10.5	30.0	18.2	25.0
福祉従事者の養成	31.6	33.3	23.1	39.4	36.1	29.3	0.0	0.0	15.8	30.0	27.3	14.3
家族支援	27.1	66.7	30.8	21.2	31.1	32.9	12.5	100.0	10.5	35.0	27.3	10.7
災害時の対応	24.4	33.3	53.8	39.4	26.9	24.6	0.0	0.0	21.1	30.0	13.6	25.0
情報提供の充実	23.1	66.7	23.1	18.2	21.4	25.7	25.0	0.0	26.3	20.0	22.7	10.7
保健・医療サービスの充実	21.7	33.3	23.1	36.4	23.9	18.0	25.0	100.0	36.8	45.0	22.7	17.9
緊急時の対応	21.2	66.7	23.1	18.2	23.1	22.2	25.0	100.0	26.3	20.0	13.6	17.9
障害理解啓発活動	19.0	66.7	0.0	12.1	21.8	25.7	62.5	0.0	0.0	0.0	4.5	14.3
早期発見・早期支援の充実	12.3	33.3	7.7	3.0	8.4	16.8	0.0	0.0	5.3	0.0	22.7	10.7
住まいの整備	7.8	33.3	7.7	15.2	9.7	6.6	0.0	0.0	0.0	20.0	4.5	7.1
権利擁護体制の強化	7.0	0.0	15.4	3.0	10.1	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
バリアフリー化の推進	6.7	0.0	23.1	27.3	8.4	3.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	3.6
地域交流の場の創出	5.9	0.0	7.7	6.1	5.9	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	3.6
在宅サービスの充実	5.9	0.0	7.7	12.1	7.1	5.4	12.5	0.0	10.5	15.0	0.0	0.0
その他	4.0	0.0	0.0	12.1	5.0	3.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	3.6
わからない	4.6	0.0	0.0	3.0	2.9	2.4	0.0	0.0	5.3	5.0	4.5	17.9

【成人】

成人全体では、「相談支援体制の強化」が最も多く、次いで、「緊急時の対応」「情報提供の充実」「保健・医療サービスの充実」となっています。

障害種別でみると、肢体不自由で「緊急時の対応」「保健・医療サービスの充実」「バリアフリー化の推進」が、発達障害で「相談支援体制の強化」「福祉従事者の養成」「就労支援の充実」が他の障害と比べ高い割合となっています。

前回調査では回答可能な選択肢数に上限がなかったため単純な比較はできませんが、「災害時の対応」は約9ポイント減少、「障害理解啓発活動」は約10ポイント減少しています。



(単位：%)

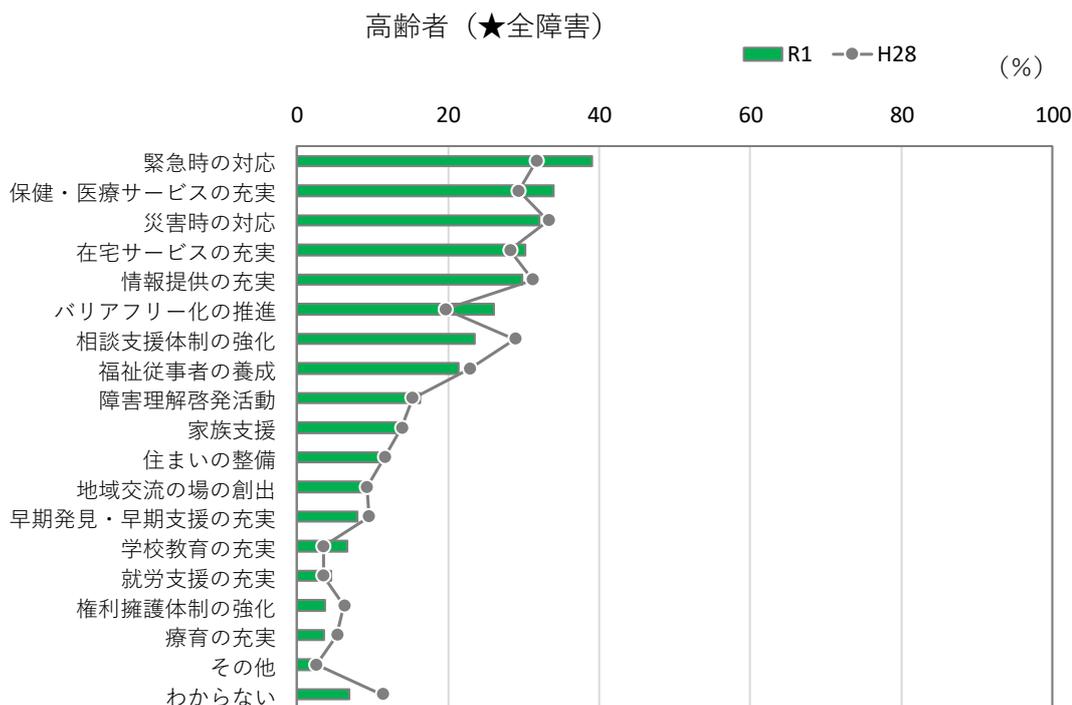
成人	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数（人）	807	34	58	99	269	94	270	14	33	109	21	37
相談支援体制の強化	36.8	32.4	17.2	26.3	40.1	48.9	44.1	21.4	24.2	27.5	38.1	40.5
緊急時の対応	32.3	44.1	44.8	44.4	36.1	31.9	30.4	57.1	42.4	31.2	28.6	37.8
情報提供の充実	31.0	44.1	41.4	27.3	28.3	28.7	35.2	35.7	33.3	25.7	28.6	29.7
保健・医療サービスの充実	30.5	26.5	32.8	42.4	21.6	25.5	32.6	42.9	33.3	54.1	47.6	10.8
福祉従事者の養成	28.4	38.2	32.8	38.4	40.1	50.0	22.2	21.4	21.2	20.2	28.6	24.3
災害時の対応	28.0	41.2	25.9	34.3	29.7	25.5	23.7	35.7	42.4	33.0	14.3	37.8
就労支援の充実	25.7	8.8	19.0	11.1	23.0	40.4	30.4	28.6	15.2	17.4	33.3	18.9
障害理解啓発活動	21.8	23.5	34.5	17.2	25.3	28.7	24.1	14.3	9.1	13.8	9.5	13.5
家族支援	20.3	20.6	19.0	21.2	25.3	25.5	21.9	21.4	6.1	18.3	19.0	18.9
バリアフリー化の推進	13.6	47.1	25.9	37.4	6.7	4.3	10.7	42.9	15.2	22.9	0.0	2.7
在宅サービスの充実	12.5	23.5	22.4	30.3	13.8	7.4	13.0	35.7	9.1	14.7	0.0	2.7
住まいの整備	9.2	5.9	10.3	16.2	7.8	6.4	8.9	7.1	9.1	11.0	0.0	8.1
学校教育の充実	9.0	8.8	8.6	8.1	6.3	11.7	10.0	14.3	3.0	11.9	9.5	8.1
療育の充実	9.0	5.9	3.4	5.1	14.9	13.8	6.7	14.3	3.0	7.3	14.3	0.0
早期発見・早期支援の充実	7.9	2.9	1.7	10.1	2.6	8.5	11.5	7.1	6.1	11.9	23.8	8.1
地域交流の場の創出	7.3	5.9	3.4	2.0	7.8	12.8	10.7	14.3	0.0	1.8	4.8	2.7
権利擁護体制の強化	4.1	11.8	5.2	4.0	3.3	7.4	6.3	7.1	3.0	1.8	0.0	2.7
その他	3.3	2.9	5.2	5.1	3.3	3.2	3.3	21.4	0.0	2.8	0.0	5.4
わからない	8.2	5.9	5.2	5.1	8.2	3.2	7.4	0.0	12.1	7.3	9.5	13.5

【高齢者】

高齢者全体では、「緊急時の対応」が最も多く、次いで「保健・医療サービスの充実」「災害時の対応」となっています。

障害種別でみると、視覚障害で「バリアフリー化の推進」が、難病で「保健・医療サービスの充実」が他の障害と比べ高い割合となっています。

前回調査では回答可能な選択肢数に上限がなかったため単純な比較はできませんが、「緊急時の対応」は約8ポイント増加しています。



(単位：%)

高齢者	★ 全 障 害	視 覚	聴 覚	肢 体	知 的	発 達	精 神	高 次 脳	内 部	難 病	未 認 定	わ か ら な い ・ そ の 他 ・
有効回答数（人）	509	50	62	130	14	3	54	7	122	106	18	39
緊急時の対応	39.1	36.0	43.5	36.2	50.0	66.7	37.0	57.1	39.3	36.8	66.7	56.4
保健・医療サービスの充実	34.0	26.0	27.4	39.2	7.1	0.0	22.2	14.3	33.6	41.5	44.4	35.9
災害時の対応	32.0	26.0	35.5	31.5	28.6	33.3	29.6	14.3	35.2	27.4	55.6	43.6
在宅サービスの充実	30.3	34.0	25.8	32.3	14.3	0.0	24.1	0.0	31.1	34.9	22.2	28.2
情報提供の充実	29.9	32.0	33.9	20.8	28.6	66.7	24.1	57.1	31.1	30.2	61.1	23.1
バリアフリー化の推進	26.1	40.0	27.4	36.9	7.1	0.0	9.3	28.6	18.9	26.4	38.9	20.5
相談支援体制の強化	23.6	32.0	27.4	27.7	35.7	33.3	25.9	14.3	18.0	25.5	16.7	15.4
福祉従事者の養成	21.4	30.0	21.0	18.5	57.1	100.0	24.1	42.9	21.3	15.1	22.2	20.5
障害理解啓発活動	16.3	36.0	25.8	12.3	42.9	66.7	18.5	28.6	12.3	9.4	22.2	5.1
家族支援	14.3	8.0	21.0	13.8	14.3	33.3	20.4	14.3	8.2	18.9	22.2	15.4
住まいの整備	11.0	12.0	17.7	13.8	0.0	0.0	11.1	14.3	6.6	8.5	5.6	5.1
地域交流の場の創出	9.0	14.0	16.1	4.6	7.1	33.3	7.4	42.9	7.4	4.7	22.2	2.6
早期発見・早期支援の充実	8.1	2.0	8.1	7.7	0.0	0.0	9.3	0.0	6.6	9.4	16.7	20.5
学校教育の充実	6.7	4.0	4.8	5.4	0.0	0.0	5.6	0.0	4.9	10.4	22.2	0.0
就労支援の充実	4.5	4.0	3.2	3.1	7.1	0.0	9.3	0.0	3.3	3.8	11.1	0.0
権利擁護体制の強化	3.7	6.0	3.2	3.1	14.3	33.3	11.1	0.0	1.6	2.8	5.6	0.0
療育の充実	3.5	2.0	3.2	2.3	7.1	33.3	3.7	0.0	5.7	3.8	5.6	0.0
その他	2.6	0.0	4.8	0.8	0.0	0.0	1.9	0.0	2.5	3.8	0.0	5.1
わからない	6.9	8.0	4.8	5.4	7.1	0.0	7.4	0.0	7.4	5.7	5.6	5.1

【その他】

(分析対象について)

⑫前回調査との比較することを重視して、無回答は原則として回答者群の母数からは削除。そのため、前回資料と比べ傾向に変化は無いものの、回答割合の値には変化が出たため、分析コメントは全面的に見直し。

(表について)

⑬今回調査の結果に基づきランキング順に並べ替えたが、「その他」「特にない」「わからない」はランキングに関わらず下段に並べている。

(選択肢について)

⑭選択肢毎に回答者群の母数（n）を修正することについては、来年度の骨子案作成の際に分析資料として作成し活用。

(自由記述欄)

⑮回答数は割合から実数に表記を変更。